

日頃から防災対策を強化
コミュニケーションを大切に
笑顔が見える支え合い
お互いに見守り支える仕組み
健康を守り応援するまち
健診・検診を推進

まさよ通信



一緒に考え、一つ先へ、一步を踏み出す郡上に。

11月に思いがけなく転んでしまいました。右手首を骨折し手術をする事になりました。不自由な生活も一緒に暮らす家族のお陰様で乗り越えられました。本当に有難いことと感謝しています。まさよ通信16がまだ配られていないところがありますが、まさよ通信17と一緒に配らせていただきますのでご容赦いただきますようお願い申し上げます。

これから寒くなり、路面や水たまりが凍りその上に雪が積もり滑りやすくなります、大けがや事故になりませんようお気をつけ下さい。私自身も一層気を付けていきたいと思ひます。

令和6年 第5回臨時会報告 10月21日

令和6年度補正予算 / 契約の2件

- 本庁舎等ZEB(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)化事業の始動
照明や空調・設備機器の稼働を制御することでエネルギーの運用を最適化し、現状の二酸化炭排出量50%程度の削減を目指す事業

- 衆議院解散に伴う選挙施行による補正 **増額**

令和6年 第6回定例会報告 12月2日～12月20日

条例関係 / 令和6年度補正予算 / 指定管理者の指定 / 財産の無償譲渡など39議案を可決

■ 補正予算 (一部)

- 郡上市民病院の経営改善計画策定業務 **増額**
- 市営住宅の用地取得 **増額**
- 美並地域統合小学校整備事業の設計業務及び敷地測定業務の実地 **増額**

■ 指定管理者の指定

郡上市滞在型コンベンション施設「ホテル積翠園」ほか4施設

■ 議発 <意見書>

日本政府への核兵器禁止条約の署名を求める意見書



物価高騰対応重点支援 地方創生臨時交付金

対象世帯 住民税非課税世帯

支給額 1世帯あたり3万円 ※子育て世帯は子ども1人あたり2万円を加算

田代 まさよ

携帯 090-5036-3971

住所 郡上市白鳥町中西488-1

E-mail masayo.t4881@gmail.com

過去の通信が
閲覧可能 ▶



公式Webサイト

友だち登録で
毎号通信が届く ▶



LINE友だち

12月定例会 私の一般質問と市の答弁

市内の病院について

質問 市内には5つの病院がある。一般診療所を含めて多くの医療関係者にご尽力をいただいている。医療関係者の方々には心より敬意と感謝の意を表します。しかしながら、医療を取り巻く環境は大きく変化している。市内の病院経営者も5年後、10年後を心配されている。それぞれの病院が持続可能な方向に向かうための考えは

答弁 山川市長

病院関係については、お互いが同じ立場に立って話すことが出来なかったことが一番の問題だったと考える。市内にある精神科の病院は県全体として位置づけがされているので、ここでは言及しない。市の医療体制は、機能分担することが必要だと言われてきたが、何一つ前に進んでいない。覚悟を持って進めなければならない課題の一つだ。市にとって本当に必要な病院のあり方、4つの病院はそれぞれ必要なのか、これをみんなで支えていけるのか。みんなでどうしていくか、真剣に考える時に来ていると考える。生活の中で病気をしっかりと治して、日常生活を過ごしていく、それを目指すために、議員の皆さんと考えていきたい。

質問 公営病院は地域の医療基盤として重要な役割を担っている一方、民間の病院はそれに加えて、利益の追求・拡大を求める必要があるなど、運営目的・方針に根本からの相違があると考え。その上で官民連携は出来ないか。難しいから何もできないのではなく、出来る事から始めていただきたい。市長の考えは

答弁 山川市長

郡上は大変広いので、北部地域と南部地域という形で医療を考えている。また、その地域ごとに開業してクリニックを持っていただいている先生が細かい気配りをしてくださり、その上に医療が成り立っている。官と民の連携ということで、南部地域で病床統合を開始したところである。医師会の皆さんにもご協力いただき「できるところから始めて行こう」の精神で話を進めている。市としても注目しているし、最大限応援してこの病床統合という方向に向かって進んでいきたい。これまでこういった話は出ていなかった。しかし、これからの流れとして必要だと考えている。

環境整備について

質問 市長はトップセールスとして市の広報活動をされている。市では、「郡上市プラスチックごみゼロ宣言」や「ゼロカーボンシティ宣言」など環境に対しても宣言を行い取組んでいる。しかしながら市民への周知はまだ不足していると考え。郡上市として出来ることがあると思います。「プラスチックごみゼロ宣言」などをより推進し、持続可能な郡上にしていただきたい。そのためには市民の理解と協力も欠かせない。少し先にはなるとは思いますが、市の取組みを市長の広報活動として発信していただけないか

答弁 山川市長

何をしてみんなに理解していただけるか、どうやって広めていくか。といった中で私の発信は大きなものがあると認識している。(株)エネルギーソリューションの今後の取組みの一つに、避難所となる施設の屋根に自家消費用の太陽光発電施設を整備し、施設に電力を供給することを考えている。また、懸念される環境問題の一つである、植林の際にカモシカ・ニホンジカなどの食害のために設置されるツリーシェルターがある。ツリーシェルターはほとんどがプラスチック製品である。これが現場で木が大きくなった後、撤収することの費用は見えていない。県の方にもお願いをしていきたい。新たな取組み、そして啓発などをこれからのSNSを含めて、あらゆる媒体で市の取組みを広報していく必要がある。環境課での予算を拡大、継続したい。取組みについても、一層発信できるよう創意工夫していく。